

体験しよう! アメリカの年末年始

2023年度 第26回

Winter Homestay

ウィンター ホームステイ

異文化体験プログラム



クリスマスに街は華やぎ、プレゼントに家族は和み、集う一年で最も輝く冬のアメリカ。中学生から参加できるプログラムで、年末、年始の家庭生活、市民生活を体験してください。

詳細は資料編をご請求ください

研修企画 南日本カルチャーセンター

お問い合わせ・お申し込み先

旅行企画・実施 (株)南日本カルチャーセンター

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号

TEL 099-257-4333(代表) お問い合わせ専用 ☎ 0120-212122

観光庁長官登録旅行業第1355号 (社)日本旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者 平原靖子

ホームページ <http://www.mncc.jp>

申込方法

申込方法

お申し込みには「参加申込書」と「参加申込金」の2点が必要です。

- ◆参加申込書 資料編の申込書にご記入ください。
- ◆参加申込金 5万円 (研修費用の一部に充当します。)

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、ガイドブックと手続書類一式をお送りします。

申込先及び振込先

◆申込先

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号
株式会社 南日本カルチャーセンター

◆振込先

三井住友銀行 鹿児島支店 普通口座 828282
肥後銀行 鹿児島支店 普通口座 1055554
南日本銀行 本店 普通口座 230800
鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 3138706
郵便振替口座 02010-8-32878

◆口座名 (株)南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

※必ず参加者名で送金してください。
※残金は12月8日までに支払いください。

参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

出発日の前日より起算して40日前から31日前	研修費用の10%
出発日の前日より起算して30日前から3日前	研修費用の20%
出発日の前々日より出発日当日	研修費用の50%
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の全額



ウィンターホームステイに参加して

1週間以上親と離れるのは初めてのことで不安もあり、正直乗り越えられるか心配でした。しかし、同じ日本人の学生達や、引率の先生、ホストファミリーなど、周りの方々の力も借りて、無事終わることができました。アメリカの食事、休日の過ごし方、お祈り等々、本場でしか味わうことのできない経験ができて、とても充実した日々でした。長いと思っていた11日間も終わってみればあっという間で、日本に帰るのもさびしい気がします。これからもホストファミリーやアメリカの友達と連絡を取り合い、関係を続けていけたらと思います。

宮崎県宮崎商業高校2年 川野 理央

私は好奇心が強い方だと思っています。日本も良いけれど、自分とは言語も人種も違う人々の暮らす外国の事を知りたい、行きたいと強く思っていました。アメリカで最初感じたことは、彼らは自国を大変誇りに思っているということです。様々な事柄について、若者から年をとった人まで「自由」という考えを皆で共有し、それを強く信じていると感じました。日本国民が共有し世界に「誇れる」ものとは何でしょうか。外に出たい、外を知りたいと思い海外に行った結果、母国のことを考えることにもなりました。今回得た自分の国を客観的にとらえる意欲を大切に、自分が日本のために何ができるかを考えていきたいです。

大分県大分上野丘高校2年 渡辺 優哉

私が一番印象に残っているのは、毎晩のようにホストファミリーとカードゲームをしたことです。全員が必死に戦うけど、誰が勝っても自分のことのように喜んでくれる、ホストファミリーの温かさを感じる楽しい時間でした。期間中、難しいことや苦しいことはたくさんありました。私が一番苦労したことは、伝えたいことが伝えられないことがあったことです。でもそんな時もアメリカ人は一生懸命理解しようとしてくれたので、私も知っている単語やボディランゲージを使ってたくさんトライしました。そして、最初の3日間は、ホームシックになりお母さんに会いたくて毎晩涙が止まりませんでした。そんな時心の支えになったのはホストファミリーでした。私は、このホストファミリーに出会えて、本当に幸せでした。

鹿児島県第一鹿屋中学校2年 江川 愛樹

私の今回の学びの中で最も重要だったこと、それは「Try it」の精神です。初めてローラースケートをやってみたり、苦手なネギを、アメリカ産だったら味が変わるかも…と食べてみたりと、他にも様々なことに挑戦しました。挑戦した結果は、意外と大丈夫だったり、失敗したりしましたが、結果ではなく、この「Try it」という考え方、行動が私は重要であると思います。アメリカ人は常に「Try it」と言っていました。上手とか下手とかではなく、やることで何か得ることができるという考え方を、毎日「Try it」することで学ぶことができました。Try it精神のおかげで、内気で人に自分の気持ちを伝えることが苦手な性格も、挑戦してみても自分の気持ちを素直に表すことのできる性格に変えることができましたと感じます。私に毎日「Try it」と言ってくれたホストシスター、多くの経験をさせてくれたオークハーバーの人、ホームステイで出会った友達や、現地のタニーシャ先生の家族に感謝しています。また、いつも支えてくれた引率の先生、及びこのホームステイに参加させてくれた両親には心からお礼を言いたいです。

佐賀県佐賀大学2年 吉原 すみれ

募 集 内 容

研修目的

大晦日、新年等の年末年始は、家族と一緒に過ごす大切な時間です。この特別な時期に、アメリカのホストファミリーと家庭生活を共にし、異文化体験学習を行うことを目的としています。

研修の特色

- 教育的なプログラムである。
- 事前研修会（オリエンテーション）が充実している。
- 期間中の様子をセンターのホームページ上で公開する。

研修参加資格

- 日本国籍を有する中学生、高校生、大学生
- 主体的に行動し、異文化を学ぶ姿勢のあること
- 心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること
- 参加者・保護者共にプログラムの趣旨を理解できること
- センターからの指示・決定事項を遵守できること

研修期間 2023年12月26日～2024年1月8日(14日間)

研修費用

- 588,000円（那覇空港発着料金）
- 568,000円（福岡、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島発着料金）

※燃油サーチャージ料は含みません。
※鹿児島、福岡、宮崎、大分、長崎、熊本、那覇からの発着料金です。

募集定員 20人

ホームステイ地 アメリカ合衆国(西海岸の郊外都市)

申込締切日

2023年10月31日(火)(但し、定員になり次第、締め切ります。)

利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アジアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空

研修費用の範囲

◇研修費用に含まれるもの

1. 日本から米国までの往復航空運賃エコノミークラス
2. 期間中に計画されたプログラムの入場料、施設使用料などの活動費一切
3. 米国受入機関の運営費用及び準備費用
4. 集合から解散までに発生する団体行動中の交通費用一切
5. 往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事代は除く）
6. 終日研修における交通費、入場料、見学費
7. オリエンテーション費用

8. ガイドブックなどの学習資料・配布物の諸経費

9. 引率指導者同行費用

※家庭内での食事と宿泊は、ホストファミリーの好意により提供されます。
※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◇研修費用に含まれないもの

1. 米国税関申告書作成料、携帯品・別送品申告書作成料、電子渡航認証システム（ESTA）代理申請手数料や有効性確認などの費用9,000円
2. ESTA申請料21ドル（有効なESTAの所有が確認された場合は必要ありません。）
3. パスポート印紙代／都道府県庁納付金（所持者は不要）
5年旅券／11,000円、10年旅券／16,000円
4. 米国出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料 約8,000円
5. 国内空港施設使用料や旅客保安サービス料、航空保険特別料金、空港税、国際観光旅客税など 約5,000円
6. 燃油サーチャージ料 約40,000円（2023年9月19日時点の目安）
7. 超過航空受託手荷物料金
8. 任意の海外旅行傷害保険料
9. 個人的なお小遣い

※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。

※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者が国際線出発空港から同行します。期間中は、引率指導者が常にセンター本社と連絡を取り合います。

為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2023年9月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起ることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2023年12月25日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日のレートが1ドル150円以上の場合や、100円以下の場合は、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研 修 内 容

研修内容概略

アメリカの一般家庭の一員としてホームステイします。月曜日から金曜日まで午前中は3時間の授業があり、英語を通してアメリカの文化や習慣について学びます。午後からは、社会見学や文化交流会があります。土曜、日曜日の週末や大晦日・年始は、ホストファミリーと過ごします。

ティーチャーコーディネーター（TC）

現地で皆さんをお世話してくださる先生です。午前中の授業を担当したり、午後からの社会見学や文化交流会などを企画手配してまいります。また、ホストファミリーとも懇意にしており、皆さんとホストファミリーとのパイプ役も務めます。

家庭生活とホストファミリー

午前中の授業や午後からの社会見学が終了し、午後5時頃にはホストファミリーの家に帰り、翌日学校が始まるまで、家庭で時間を過ごすこととなります。この家庭での時間にホストファミリーは、特別な事を計画しているわけではなく、いつもの時間を過ごすだけです。ですから、家庭生活に多くのものを期待する事は禁物です。ホストファミリーは、純粋な博愛精神で皆さんを受け入れており、様々な場所に連れて行くという義務は一切負っていません。また、家庭での食事や宿泊の提供も、彼らの好意によるものです。もし、「ホストファミリーが～してくれない」という彼らへの不満があるとすれば、それはお客様意識や彼らの気持ちに対する認識不足です。彼らの善意に応えるよう常に感謝の気持ちを持って責任ある行動をしてください。特にこの時期はアメリカの人々にとっては特別ですので、家族と一緒に過ごす時間は、積極的に参加してください。

ウェルカムパーティーとさよならパーティー

アメリカ到着後、ウェルカムパーティーが開かれます。これは、アメリカの先生、ホストファミリーが中心になって参加者の皆さんを歓迎するパーティーです。帰国前に行われるのが、さよならパーティーです。これは参加者の皆さんがお世話になった先生方や、ホストファミリーへの感謝の意味を込めて行うもので、日本料理を作ったり、歌や踊りや特技などを披露したりします。

授 業

午前中9時から12時まで3時間、アカデミックセンターで米国人教師により授業が行われます。授業はテキストを使いながら、アメリカの社会、家庭、市民生活の様子を学びます。

社会見学と文化交流会

午後には社会見学や文化交流会があります。社会見学における訪問地は市役所、警察署、消防署、郵便局などの公共施設、工場などの地域経済の中心となる場、名所旧跡などです。また、そこで働く方々からの説明なども受けます。文化交流会は、日米の文化や伝統などを紹介しあい、互いの文化をより理解するための場となります。

終日研修

終日の社会見学があり、滞在地近郊の名所旧跡や景勝地を訪れます。この日は授業や午後の活動はありません。

スケジュール表

月日	活 動 内 容
1日目	日本出発。時差の関係で、日本出発日と米国到着日が同日。米国でお世話してくださるTCが空港に出迎え、バスでステイ地へ。ステイ地到着後、オリエンテーション。ホストファミリーと対面し、夕刻からウェルカムパーティー。ポットラック（食物持寄）形式で、ゲームや歓談を楽しむ。アメリカ式社交術を学ぶ。
2日目	午前は英語を使った授業。日常生活で使う簡単な会話の表現、俗語や慣用語について学ぶ。午後は社会見学で、市役所、消防署、警察署などの公共施設を訪問し、そこで働く方々から仕事の内容などの説明を聞いたり、施設内を見学する。
3日目	それぞれのホストファミリーと週末を過ごす。日本料理をふるまったり、日本のことや日本語を教えたり、お手伝いをしたりして、共に過ごす時間を充実させよう。ホストファミリーのために何ができるかを常に考えること!!
4日目	午前は英語を使った授業。アメリカのお金や買い物での英会話、物価の違いについて学ぶ。午後はスーパーマーケットへ行き、実際に買い物の勉強。日米の製品や価格の違いなどを比較し、学習する。
5日目	シアトルへ終日研修。ワシントン大学やスペースニードル、バイクプレイスマーケットなどを見学。世界的な観光地であるシアトルの魅力を堪能する。アメリカでの大晦日、家族で楽しいひとときを！
6日目	A Happy New Year！それぞれのホストファミリーと元旦を過ごす。日本の元旦とは異なる年始を体験する。
7日目	午前は英語を使った授業。アメリカの家族、家庭生活について学ぶ。午後は老人ホームを慰労訪問。日本の歌や折り紙などを披露して、文化交流会を楽しむ。
8日目	午前は英語を使った授業。アメリカの祝祭日について学ぶ。午後は感謝祭やクリスマスなどアメリカの代表的な行事を疑似体験する。日本の祝祭日や行事も紹介して、お互いの文化交流をする。
9日目	午前最後の授業。アメリカで学んだことを振り返って、英文を書いたり、ホストファミリーに渡すギフトを作る。午後はさよならパーティーの準備。夕刻はホストファミリーを招いてのさよならパーティー。特技披露や合唱などの発表をして、お世話になったホストファミリーやTCに感謝の気持ちを伝える。
10日目	帰国日。ホストファミリーとアカデミックセンターで別れてバスで空港へ。TCとは空港でお別れ。
11日目	日本到着。入国手続き後、貸切バスや国内線を利用して各県へ。着後解散。

※このスケジュールは、大体のひな形です。実際のスケジュールは、事前研修会（オリエンテーション）までにお渡しします。